

2023. 8. 0 1

歴史民俗資料館だより No.150

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

くんち資料展

会 期 8月24日(木) ~ 10月8日(日)

展示品 くんち衣装、踊町の写真(傘鉾・演し物)、手ぬぐいなど 約70点



船大工町 川船根曳衣装

昭和52年(1977) 光永 義久氏寄贈

はじめに

寛永11(1634)年に長崎諏訪神社の秋の大祭「くんち」が始まり、今年で389年となります。

長年の間に、江戸時代の大火災、昭和の戦災や大水害、そして町名変更などをへて、時代と共に7年に1度出演する踊町の数や組合せ、演(だ)し物の多くが変化してきました。

今年は、新型コロナウイルス感染も収束したこともあり、「長崎くんち」が4年ぶりに開催することが決定されました。

そこで、今回の企画展は、「長崎くんち」の魅力を改めて広く周知するために、これまでに展示されてきた各踊町の資料や演し物の写真等を中心に、「長崎くんち」を紹介する内容といたしました。

今回の展示に際しまして、貴重な資料等をご寄贈いただいた皆様や各踊町の関係各位に深く御礼申し上げます。



江戸町 兵式教練遊軍士官衣装

大正2年(1913) 川添 弘之氏寄贈

くんちの語源

重陽の節句、菊の節句の九月九日、この九日のくにかが「くんち」になったと言われています。

諏訪神社では寛永3(1626)年はじめて神楽を奏し湯立神事が行なわれましたが、大祭の最初は寛永11(1634)年でした。この時の社地は、まだ現在の玉園山に移る前の円山(現、松ノ森神社)で、(慶安元年・1648・遷宮)9月7日、遊女高尾・音羽の両人が神前に謡曲小舞を奉納。午後、神輿が御旅所に渡御され、8日が大祭で、御旅所で湯立神事が執行され、9日無事神輿は還御されました。



本石灰町 御朱印船長采衣装

平成11年(1999) 山口 哲治氏寄贈



紺屋町 川船船頭衣装
昭和 8 年 (1933) 若山 静枝氏寄贈



羽織型くんち手拭張り混屏風
昭和 60 年 (1985) 頃 吉村 愛子氏寄贈



本古川町くんち衣装 (海軍大将礼装)
昭和 7 年 (1932) 黒瀬 勝子氏寄贈



勝山町大薩摩指物図
弘化 2 年 (1845) 野川 美恵子氏寄贈



呈上・御礼札



花御礼